



## 2021年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月14日

上場会社名 R P Aホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6572 URL http://rpa-holdings.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 高橋 知道  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松井 哲史 TEL 03 (5157) 6388  
 定時株主総会開催予定日 2021年5月26日 配当支払開始予定日 ー  
 有価証券報告書提出予定日 2021年5月27日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（決算説明動画配信）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2021年2月期の連結業績（2020年3月1日～2021年2月28日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期	11,206	11.3	532	13.0	521	36.6	21	21.1
2020年2月期	10,070	23.0	471	△50.7	382	△57.9	17	△96.9

（注）包括利益 2021年2月期 21百万円（21.1%） 2020年2月期 17百万円（△96.9%）

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年2月期	0.36	0.33	0.2	2.9	4.8
2020年2月期	0.31	0.27	0.2	2.8	4.7

（参考）持分法投資損益 2021年2月期 ー百万円 2020年2月期 ー百万円

（注）当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期	18,538	13,142	70.9	224.19
2020年2月期	18,028	13,106	72.7	224.50

（参考）自己資本 2021年2月期 13,136百万円 2020年2月期 13,101百万円

（注）当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり純資産」を算定しております。

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年2月期	1,579	△553	△15	13,405
2020年2月期	126	△2,266	8,658	12,394

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額（合計）	配当性向（連結）	純資産配当率（連結）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年2月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00	ー	ー	ー
2021年2月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00	ー	ー	ー
2022年2月期（予想）	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー

（注）当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

### 3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	6,030	4.5	660	12.7	280	29.3	265	36.2	70	△1.6	1.19
通期	12,500	11.5	1,500	11.4	730	37.1	710	36.0	270	ー	4.61

（注）EBITDA（経常利益＋減価償却費＋のれん償却額＋支払利息）

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期	58,596,500株	2020年2月期	58,358,500株
② 期末自己株式数	2021年2月期	－株	2020年2月期	－株
③ 期中平均株式数	2021年2月期	58,500,319株	2020年2月期	56,154,847株

(注) 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年2月期の個別業績（2020年3月1日～2021年2月28日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期	1,642	△14.4	689	△30.0	738	△21.1	304	△51.6
2020年2月期	1,920	66.1	985	164.8	935	182.0	629	101.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期	5.21	4.74
2020年2月期	11.21	9.96

(注) 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期	16,708	13,395	80.1	228.52
2020年2月期	16,480	13,076	79.3	223.99

(参考) 自己資本 2021年2月期 13,390百万円 2020年2月期 13,071百万円

(注) 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	18

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大が全世界的に猛威を振るい、依然として厳しい状況が続いています。段階的な経済活動の再開がみられ、一部持ち直しの動きも見られるものの、新たな脅威と成り得る変異ウイルス等も発生し、収束の見通しが立たないことから、国内景気や企業収益に与える影響については依然として先行き不透明な状況です。

こうした環境の中で、当社グループはロボットアウトソーシング事業、ロボットトランスフォーメーション事業の両事業ともに、既存顧客の継続・拡大、及び新規顧客の獲得に注力しました。さらに、新規事業であるRaaS事業の立ち上げに向けた先行投資を行いました。

その結果、当連結会計年度の売上高は11,206百万円（前連結会計年度比11.3%増）、営業利益は532百万円（前連結会計年度比13.0%増）、経常利益は521百万円（前連結会計年度比36.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は21百万円（前連結会計年度比21.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ロボットアウトソーシング事業

ロボットアウトソーシング事業においては、「BizRobo!Basic」、「BizRobo!mini」、2020年8月に提供を開始した「BizRobo!Lite」とも導入企業が拡大し、ストック型のライセンス収入が伸長しました。一方でエンジニアリング、コンサルティング等の受託型案件は、顧客企業での外部への委託の縮小などの影響が発生し、引き続き受注が減少しました。ストック型のライセンス収入中心の収益構造への転換、広告宣伝費等のコストコントロールに努めたことにより、利益率は改善し、セグメント利益を伸ばしました。

その結果、ロボットアウトソーシング事業では、売上高は3,170百万円（前連結会計年度比12.6%減）、セグメント利益（営業利益）は410百万円（前連結会計年度比29.2%増）となりました。

#### ロボットトランスフォーメーション事業

ロボットトランスフォーメーション事業においては、金融、通信カテゴリにおいて売上高が大きく伸長しました。

その結果、ロボットトランスフォーメーション事業では、売上高は7,730百万円（前連結会計年度比25.1%増）、セグメント利益（営業利益）は685百万円（前連結会計年度比0.1%減）となりました。

#### RaaS事業

RaaS事業においては、汎用ロボットによるサービスを提供するRaaS（Robot As A Service）の本格展開に向けた先行投資を引き続き行いました。

その結果、RaaS事業では、売上高は21百万円（前連結会計年度比2.5%減）、セグメント損失（営業損失）は263百万円（前連結会計年度は291百万円のセグメント損失）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産の部)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末と比較して510百万円増加し、18,538百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して854百万円増加し、15,178百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,010百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して343百万円減少し、3,360百万円となりました。これは主にソフトウェア仮勘定が197百万円減少したこと及びのれんが170百万円減少したことによるものであります。

## (負債の部)

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末と比較して475百万円増加し、5,396百万円となりました。

流動負債は3,693百万円となり、前連結会計年度末に比べ594百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が258百万円増加したことによるものであります。

固定負債は1,703百万円となり、前連結会計年度末に比べ118百万円減少いたしました。これは主に長期借入金 が94百万円減少したことによるものであります。

## (純資産の部)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末と比較して35百万円増加し、13,142百万円となりました。

これは主に親会社株主に帰属する当期純利益を21百万円計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は70.9%（前連結会計年度末は72.7%）となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,010百万円増加し、13,405百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,579百万円（前連結会計年度比1,145.4%増）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益の計上354百万円、減価償却費の計上422百万円、のれん償却額の計上381百万円、法人税等の支払額371百万円及び法人税等の還付額257百万円等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は553百万円（前連結会計年度比75.6%減）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出280百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出203百万円及び有形固定資産の取得による支出139百万円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は15百万円（前連結会計年度は8,658百万円の収入）となりました。これは長期借入金の返済による支出252百万円、社債の発行による収入215百万円、長期借入れによる収入215百万円及び社債の償還による支出200百万円によるものであります。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2018年2月期	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期
自己資本比率 (%)	53.6	58.2	72.7	70.9
時価ベースの 自己資本比率 (%)	—	865.8	285.8	193.8
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	0.7	2.3	25.7	2.0
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	148.9	95.0	5.3	77.3

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 当社は、2018年3月27日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、2018年2月期の時価ベースの自己資本比率については、当社株式が非上場のため記載しておりません。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

#### (4) 今後の見通し

ロボットアウトソーシング事業においては、「BizRobo!mini」、「BizRobo!Lite」で新規顧客への「BizRobo!」の新規導入を推進し、ユーザー数の拡大を図り、ライセンス売上のストック収入の拡大を図ります。エンジニアリング売上は前期同等を見込んでおります。ライセンス収入中心の収益構造となり、増収増益を見込んでいます。

ロボットトランスフォーメーション事業においては、人材、金融、通信等の既存分野のシェア拡大に加えて、新たな業界への参入、シェア獲得による増収増益を見込んでいます。

新規事業として進めているRaaS事業においては、「RoboRoboコンプライアンスチェック」など既にローンチしているサービスで、無料ユーザー、有料ユーザーの獲得を進め、事業の立ち上げを図るとともに、新たなサービスの事業開発等の先行投資を実施いたします。

以上を踏まえ、当社グループの次期業績見通しにつきましては、売上高12,500百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益730百万円（前年同期比37.1%増）、経常利益710百万円（前年同期比36.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益270百万円を見込んでおります。

なお、新型コロナウイルスの今後の感染拡大や収束の状況等によって業績は大きく変動する可能性があります。業績予想の修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当連結会計年度 (2021年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,394,441	13,405,199
受取手形及び売掛金	1,313,198	1,492,547
仕掛品	634	9,652
前払費用	292,640	129,217
その他	324,110	141,996
貸倒引当金	△1,094	—
流動資産合計	14,323,930	15,178,613
固定資産		
有形固定資産		
建物	51,175	56,624
減価償却累計額	△51,175	△4,496
建物(純額)	—	52,128
工具、器具及び備品	46,682	116,199
減価償却累計額	△22,685	△33,572
工具、器具及び備品(純額)	23,996	82,627
有形固定資産合計	23,996	134,755
無形固定資産		
のれん	1,348,571	1,177,588
ソフトウェア	743,938	653,453
ソフトウェア仮勘定	250,985	53,140
その他	72	72
無形固定資産合計	2,343,568	1,884,255
投資その他の資産		
投資有価証券	798,637	821,751
敷金	331,321	234,721
繰延税金資産	206,748	284,883
投資その他の資産合計	1,336,707	1,341,356
固定資産合計	3,704,271	3,360,366
資産合計	18,028,202	18,538,980

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当連結会計年度 (2021年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	848,016	1,000,655
短期借入金	1,000,000	1,000,000
1年内償還予定の社債	200,000	244,000
1年内返済予定の長期借入金	237,250	289,029
未払金	227,192	154,829
未払法人税等	29,700	288,564
賞与引当金	67,279	83,268
変動報酬引当金	133,122	72,585
その他	356,838	560,596
流動負債合計	3,099,399	3,693,527
固定負債		
社債	700,000	676,000
長期借入金	1,122,000	1,027,339
固定負債合計	1,822,000	1,703,339
負債合計	4,921,399	5,396,866
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,881,796	5,888,936
資本剰余金	6,017,915	6,025,055
利益剰余金	1,201,828	1,222,858
株主資本合計	13,101,540	13,136,851
新株予約権	5,263	5,263
純資産合計	13,106,803	13,142,114
負債純資産合計	18,028,202	18,538,980



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
売上高	10,070,530	11,206,457
売上原価	6,700,808	7,591,163
売上総利益	3,369,721	3,615,293
販売費及び一般管理費		
役員報酬	170,610	144,420
給料及び手当	743,852	799,719
業務委託費	357,847	393,636
賞与引当金繰入額	60,805	81,531
貸倒引当金繰入額	434	△1,094
のれん償却額	335,266	381,554
その他	1,229,810	1,283,122
販売費及び一般管理費合計	2,898,626	3,082,889
営業利益	471,095	532,403
営業外収益		
受取利息	132	129
受取保険金	—	7,152
投資事業組合運用益	—	3,114
還付消費税等	—	5,537
その他	904	8,041
営業外収益合計	1,036	23,975
営業外費用		
支払利息	23,892	20,440
為替差損	580	527
支払手数料	23,888	257
投資事業組合運用損	4,188	—
株式交付費	26,139	—
社債発行費	8,568	4,198
その他	2,790	9,022
営業外費用合計	90,048	34,446
経常利益	382,083	521,932
特別損失		
関係会社清算損	491	—
減損損失	78,042	167,542
特別損失合計	78,533	167,542
税金等調整前当期純利益	303,549	354,389
法人税、住民税及び事業税	334,613	411,494
法人税等調整額	△48,427	△78,134
法人税等合計	286,185	333,359
当期純利益	17,363	21,030
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	17,363	21,030

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
当期純利益	17,363	21,030
包括利益	17,363	21,030
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	17,363	21,030
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	2,148,640	2,284,759	1,184,464	5,617,864
当期変動額				
新株の発行(新株予約権の行使)	3,733,156	3,733,156		7,466,312
親会社株主に帰属する当期純利益			17,363	17,363
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	3,733,156	3,733,156	17,363	7,483,675
当期末残高	5,881,796	6,017,915	1,201,828	13,101,540

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	29,473	5,647,338
当期変動額		
新株の発行(新株予約権の行使)		7,466,312
親会社株主に帰属する当期純利益		17,363
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△24,210	△24,210
当期変動額合計	△24,210	7,459,465
当期末残高	5,263	13,106,803

当連結会計年度（自 2020年3月1日 至 2021年2月28日）

（単位：千円）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	5,881,796	6,017,915	1,201,828	13,101,540
当期変動額				
新株の発行（新株予約権の行使）	7,140	7,140		14,280
親会社株主に帰属する当期純利益			21,030	21,030
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）				
当期変動額合計	7,140	7,140	21,030	35,310
当期末残高	5,888,936	6,025,055	1,222,858	13,136,851

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	5,263	13,106,803
当期変動額		
新株の発行（新株予約権の行使）		14,280
親会社株主に帰属する当期純利益		21,030
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	—	—
当期変動額合計	—	35,310
当期末残高	5,263	13,142,114

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	303,549	354,389
減価償却費	273,347	422,245
のれん償却額	335,266	381,554
減損損失	78,042	167,542
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	434	△1,094
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,255	15,989
変動報酬引当金の増減額 (△は減少)	8,236	△60,537
受取利息	△132	△129
支払利息	23,892	20,440
社債発行費	8,568	4,198
株式交付費	26,139	—
為替差損益 (△は益)	264	272
投資事業組合運用損益 (△は益)	4,188	△3,114
関係会社清算損益 (△は益)	491	—
売上債権の増減額 (△は増加)	103,405	△156,490
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5,754	△9,018
仕入債務の増減額 (△は減少)	178,229	158,271
未払金の増減額 (△は減少)	△6,896	△76,346
その他	△326,434	495,618
小計	1,005,093	1,713,790
利息の受取額	132	129
利息の支払額	△20,846	△20,525
法人税等の支払額	△923,366	△371,073
法人税等の還付額	65,843	257,484
営業活動によるキャッシュ・フロー	126,856	1,579,805
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,243	△139,542
無形固定資産の取得による支出	△802,072	△280,593
投資有価証券の取得による支出	△726,608	△30,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△203,090
関係会社株式の売却による収入	—	10,000
関係会社の整理による収入	4,508	—
敷金の差入による支出	△239,068	△1,280
敷金の回収による収入	1,162	90,805
事業譲受による支出	△500,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,266,324	△553,701
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	800,000	—
社債の発行による収入	991,431	215,801
社債の償還による支出	△100,000	△200,000
長期借入れによる収入	—	210,000
長期借入金の返済による支出	△449,106	△252,882
株式の発行による収入	7,415,962	14,280
その他	—	△2,272
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,658,288	△15,073
現金及び現金同等物に係る換算差額	△264	△272
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,518,554	1,010,758
現金及び現金同等物の期首残高	5,875,886	12,394,441
現金及び現金同等物の期末残高	12,394,441	13,405,199

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、持株会社であるR P Aホールディングス株式会社（以下、当社）と、事業を担う連結子会社9社から構成されており、ロボットアウトソーシング事業、ロボットトランスフォーメーション事業、RaaS事業及びセールスアウトソーシング事業を展開しております。提供サービスをベースにして事業セグメントを集約しており、ロボットアウトソーシング事業、ロボットトランスフォーメーション事業及びRaaS事業を報告セグメントとしております。

各連結子会社の事業内容は以下のとおりであります。

連結子会社	報告セグメント	事業
R P Aテクノロジーズ株式会社	ロボットアウトソーシング事業	ロボットアウトソーシング事業
株式会社セグメント 株式会社ディレクト	ロボットトランスフォーメーション 事業	ロボットトランスフォーメーション 事業
オープンアソシエイツ株式会社	R a a S事業	R a a S事業
リーグル株式会社	その他	セールスアウトソーシング事業

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	ロボットア ウトソーシ ング事業	ロボットト ランスフォ ーメーショ ン事業	RaaS事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,628,172	6,178,440	22,425	9,829,038	241,491	—	10,070,530
セグメント間の内部売 上高又は振替高	104,589	324,125	23,660	452,375	55,138	△507,513	—
計	3,732,761	6,502,565	46,085	10,281,413	296,629	△507,513	10,070,530
セグメント利益又は損失 (△)	317,671	686,705	△291,665	712,711	96,193	△337,809	471,095
セグメント資産	1,813,812	5,685,733	335,464	7,835,009	153,375	10,039,816	18,028,202
その他の項目							
減価償却費	217,038	28,293	15,892	261,224	—	12,122	273,347
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	537,209	578,058	186,311	1,301,578	—	9,867	1,311,446

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△337,809千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額10,039,816千円は各セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の現金及び預金等10,066,350千円及びセグメント間債権の消去△26,533千円であります。
- (3) 減価償却費の調整額12,122千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の減価償却費12,122千円であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額9,867千円は各セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の本社造作及び工具、器具及び備品であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	ロボットア ウトソーシ ング事業	ロボットト ランスフォ ーメーショ ン事業	RaaS事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,170,898	7,730,816	21,862	10,923,577	282,880	—	11,206,457
セグメント間の内部売 上高又は振替高	8,210	7,679	50,798	66,688	16,950	△83,638	—
計	3,179,108	7,738,496	72,660	10,990,265	299,830	△83,638	11,206,457
セグメント利益又は損失 (△)	410,498	685,946	△263,250	833,194	△8,065	△292,725	532,403
セグメント資産	2,033,948	5,476,329	476,882	7,987,160	167,575	10,384,244	18,538,980
その他の項目							
減価償却費	298,636	32,559	61,466	392,662	—	29,582	422,245
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	116,948	221,351	135,547	473,847	—	151,226	625,073

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△292,725千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額10,384,244千円は各セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の現金及び預金等10,569,592千円及びセグメント間債権の消去△185,348千円であります。
- (3) 減価償却費の調整額29,582千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の減価償却費29,582千円であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額151,226千円は各セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の本社造作及び工具、器具及び備品であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。



## 【関連情報】

前連結会計年度（自 2019年3月1日 至 2020年2月29日）

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

当連結会計年度（自 2020年3月1日 至 2021年2月28日）

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社SBI証券	2,610,515	ロボットトランスフォーメーション事業

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年3月1日 至 2020年2月29日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	ロボットアウトソーシング事業	ロボットトランスフォーメーション事業	RaaS事業	報告セグメント			
減損損失	18,713	13,102	1,097	32,913	—	45,128	78,042

当連結会計年度（自 2020年3月1日 至 2021年2月28日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	ロボットアウトソーシング事業	ロボットトランスフォーメーション事業	RaaS事業	報告セグメント			
減損損失	158,429	9,113	—	167,542	—	—	167,542

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年3月1日 至 2020年2月29日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	ロボットアウトソーシング事業	ロボットトランスフォーメーション事業	RaaS事業	計			
当期償却額	758	334,508	—	335,266	—	—	335,266
当期末残高	442	1,348,129	—	1,348,571	—	—	1,348,571

当連結会計年度（自 2020年3月1日 至 2021年2月28日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	ロボットアウトソーシング事業	ロボットトランスフォーメーション事業	RaaS事業	計			
当期償却額	442	381,112	—	381,554	—	—	381,554
当期末残高	—	1,177,588	—	1,177,588	—	—	1,177,588

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
1株当たり純資産額	224.50円	224.19円
1株当たり当期純利益	0.31円	0.36円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	0.27円	0.33円

(注) 1. 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	17,363	21,030
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	17,363	21,030
普通株式の期中平均株式数(株)	56,154,847	58,500,319
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(株)	7,040,303	5,867,761
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。